

災害医療作戦指令センター・ 災害医療研修センター

センター長 いとう 伊藤 しげひこ 重彦



災害医療作戦指令センター（DMOC）

災害発生時には、北九州市地域防災計画及び北九州市医師会医療救護計画に基づき、市立八幡病院内にDMOCが設置されます。DMOCは、被災規模に合わせた被災地内の物的・人的医療資源の活用をコーディネートする機能を有しています。2016年4月の熊本地震、2017年7月の九州北部豪雨では、DMOCを立ち上げ、避難所情報の収集や北九州JMATの活動支援を行いました。2016年5月に本市で開催されたG7エネルギー大臣会合ではテロ等有事対応としてDMOCが設置されました。また地域包括ケアシステムが進むなかで、DMOCが発災ゼロ時からの医療支援、すなわち避難開始直後からの要配慮者支援ができるよう、訪問看護利用者、在宅療養者、透析患者、人工呼吸・在宅酸素療養者等を担当する機関、団体と連携するネットワークを構築していきます。詳細は病院ホームページをご覧ください。（図2：DMOCと関係機関・団体との連携）

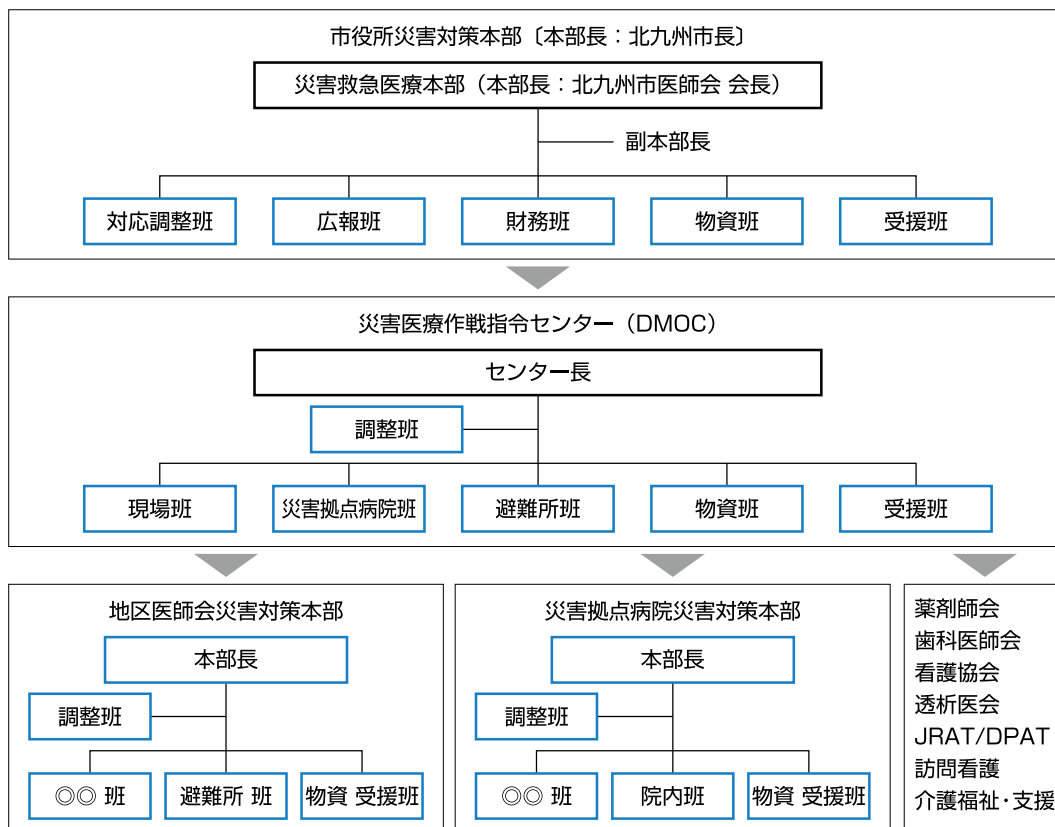


図2：災害医療作戦指令センター（DMOC）と関係機関・団体との連携

災害医療研修センター（DMEC）

1. 研修センター組織

東日本大震災の経験から、災害発生早期からの被災地内医療支援体制構築のため、2011年10月に災害医療研修センター（DMEC）、2017年4月に災害医療作戦指令センター（DMOC）が八幡病院内に設置されました。DMECは、様々な種類の災害における医療支援について、普段から関係機関と協議を行うセンターです。DMOCは、発災ゼロ時から効果的な医療支援を行うために、北九州市地域防災計画、福岡県地域防災計画に基づき、被災地内で活用できる医療資源を確認し、地域内の支援要請に対して効果的な医療資源投入を行うための情報管理センターです。（図1：災害医療研修センター（DMEC）の災害対応組織図）

2. 災害医療研修センター連絡協議会

発災ゼロ時からの被災地内医療支援体制（北九州モデル）構築のため、病院内に連絡協議会を設置し、会議に参加する関係機関、団体と連携して、被災地内医療支援活動に係る諸問題を検討します。（表1：連絡協議会 構成機関・団体）

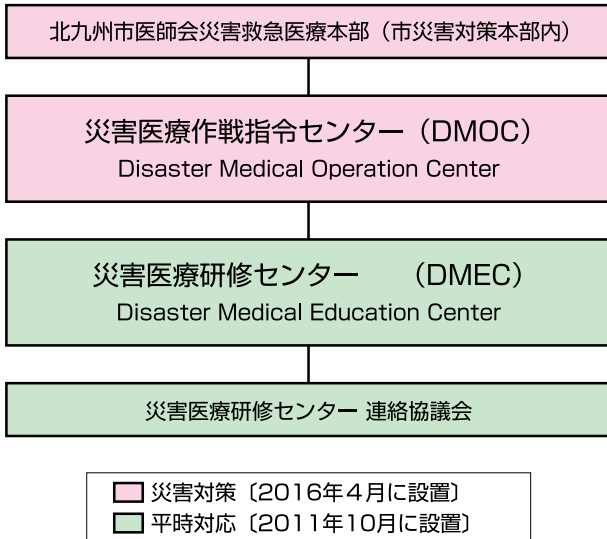


図1：災害医療研修センター（DMEC）の災害対応組織図

災害医療研修センター連絡協議会 構成機関・団体
北九州市医師会
北九州市八幡医師会
遠賀中間医師会
北九州市薬剤師会
北九州市歯科医師会・九州歯科大学
福岡県看護協会
福岡県透析医会
JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）
DPAT（災害派遣精神医療チーム）
学識経験者
北九州市危機管理室
北九州市保健福祉局
北九州市消防局
遠賀郡消防本部
中間市消防本部
災害医療研修センター事務局

表1：災害医療研修センター（DMEC）連絡協議会 構成機関・団体

3. 災害医療救護訓練の実施、災害医療研修会の開催

研修センターでは、地域医師会と連携して、医療従事者が参加しやすい平日午後7時から開始する「仕事帰りの災害訓練研修会」、「DMOCミニ訓練」を行っています。また、消防機関をはじめ、警察、海上保安庁、国土交通省北九州空港事務所等関係機関・団体が連携する総合訓練にも積極的に参加しています。

4. センターの役割・機能

(1) 施設機能

当院は災害拠点病院、福岡県DMAT指定医療機関、原子力災害医療協力機関、北九州空港緊急連絡協議会の構成施設です。北九州市及び福岡県の地域防災計画において、災害医療支援チーム活動のコマンドー施設、北九州地域災害医療コーディネートの統括施設です。

(2) 屋上ヘリポート

10トン離陸加重に対応可能な県内屈指の屋上ヘリポートは、自衛隊及び海上保安庁の大型ヘリが発着可能です。海上保安庁の海難事故に対する拠点施設として救命医療活動を行います。

(3) 化学災害対応除染テント、新興感染症対応陰圧テント

北九州市医師会災害時医療救護計画に基づき、化学災害等に対応するための除染テント、北九州市新型インフルエンザ対応マニュアルに基づき、発熱外来等に対応するためのHEPAフィルターを装備した医療用陰圧テントが敷地内で常時設置可能です。

(4) ハイパーレスキュー活動

多数傷病者事故等発生時には、敷地内に設置された北九州市消防局救急ワークステーション、特別科学救助隊と当院医療チームが連携して、迅速な医療救護活動を行います。

(5) DMAT隊員数（2019年10月現在）

- ①日本DMAT隊員：16名
統括DMAT2名を含む医師6名、看護師7名、調整員3名
- ②福岡県DMAT隊員：4名
職種：医師1名、看護師2名、臨床検査技師1名



化学災害対応除染テント



新興感染症対応陰圧テント